

陸運統制令施行規則(昭和十五年二月二十四日)
鐵道省令第二號

第一條 陸運統制令(以下令ト稱ス)第二條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

陸上運送事業者前項ノ令書ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ要旨ヲ令書ヲ以テ指定スル荷送人、荷受人其ノ他關係者ニ通知スベシ

第二條 令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ鐵道局長ニ於テ其ノ管轄スル國有鐵道、國營自動車、地方鐵道又ハ軌道ノ驛ニ所在スル貨物ニ付左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一 引取ヲ爲スベキ貨物ノ表示

二 引取ヲ爲スベキ期日又ハ期間

三 其ノ他必要ト認ムル事項

第三條 令第四條第一項ノ規定ニ依ル總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一 米 麥 飼料 砂利 石材 セメント 木材 石炭 薪 木炭 礮石 鐵(鋼ヲ含ム)肥料

二 前號ノ物資以外ノモノニシテ鐵道大臣特ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第四條 令第四條ノ出貨者ハ前條ニ定ムル貨物ヲ國有鐵道若ハ國營自動車又ハ之ト連絡運輸ヲ爲ス

第八條關係

六九

1682

地方鐵道若ハ軌道ニ託送（小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ）セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス

- 一 當該貨物ニ付從前ノ一定期間内ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ実績アリタルモノ
- 二 前號ノモノ以外ノモノニシテ當該貨物ニ付一定期間内ニ一定數量以上ノ託送ノ豫定ヲ有スルモノ

前項第一號及第二號ノ期間又ハ數量ハ貨物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ鐵道大臣之ヲ定メ告示ス

第五條 令第四條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ旨並ニ申申告爲スベキ事項及申告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

第六條 前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ出貨者ハ申告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ヲ託送セントスル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ申告スベシ

前項ノ規定ニ依リ申告シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ遲滞ナク其ノ變更シタル事項ヲ申告スベシ

第七條 令第四條第二項ノ指定ハ鐵道局長之ヲ爲シ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第八條 令第五條ノ規定ニ依ル設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、共同作業、運賃又ハ料金其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定又ハ變更ハ陸上運送事業者ヲ指定シ又ハ地域及業種ヲ指定シテ之ヲ命ズ

第九條 令第四條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シタル出貨者ハ毎月十日迄ニ當該貨物ノ前月中ニ於ケル託送數量ヲ託送シタル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

第十條 出貨者已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ令第四條第二項ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ得ザルコト豫メ明カニナリシトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ託送ヲ爲スベキ驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ報告スベシ

第十一條 陸上運送事業者令第五條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ統制協定ヲ設定シ又ハ變更シタルトキハ左ノ事項ヲ遲滞ナク鐵道大臣ニ届出ヅベシ

- 一 設定シ又ハ變更シタル協定ノ内容
- 二 設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日
- 三 其ノ他必要ト認ムル事項

第八條關係

第十二條 令第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル
第十三條 令第六條第一項ニ定ムル鐵道大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外鐵道局長之ヲ
行フコトヲ得

附則

本令ハ昭和十五年二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7ト)
シ中央點線ノ所ヨリニツ折トス
(表面)

陸軍統制令第六條ノ規定ニ依ル證票	
------------------	--

第八條關係

甲四

1686

中區

第 號 昭和 年 月 日交付

(裏面)

1687

官 職 氏 名
鐵道省又ハ
鐵道局印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

陸運統制令第六條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ貨物運送ノ引受若ハ順序、貨物ノ受取、引渡、託送若ハ引取又ハ前條ノ統制協定ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ店舗、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

陸運統制令施行規則第十二條 令第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

陸運統制令第二條ノ規定ニ依リ地方鐵道、軌道ノ荷物ノ運送引受禁止ニ

關スル件 (昭和十五年十一月二十九日
鐵道省告示第二百六十三號)

(道二) 一五七

陸運統制令第二條ノ規定ニ依リ地方鐵道、軌道ノ荷物ノ運送引受ヲ左ノ各號ニ依リ禁止ス但シ特ニ所管鐵道局長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 受託禁止荷物ノ種類

イ 代金引換附ノ小荷物(驛留ノモノヲ除ク)及宅扱貨物

ロ 左ニ掲グル小荷物及貨物

(一) 庭石。大理石類製品

(二) 銘木。植木。盆栽。香木

(三) 寫真機類。化粧品(賣藥部外品タルモノヲ除ク)。樂器類(ラヂオ聽取器ヲ除ク)。樂器類ノ部分品及附屬品(レコード、ラヂオ聽取器ノ部分品及附屬品ヲ除ク)。娛樂用品。人形

(四) 金剛石、紅玉、綠柱玉其ノ他ノ寶石及及其ノ製品。琥珀、眞珠、象牙、鼈甲、珊瑚及其ノ製品。

水晶製品。美術品及骨董品

ハ 左ニ掲グル手荷物、小荷物、宅扱貨物及小口扱貨物ニシテ東京、横濱、名古屋、京都、大阪及神戸ノ

各市内所在驛著ノモノ但シ(三)ニ掲グル荷物ニシテ青果物配給統制規則ニ基キ地方長官ニ於テ指定シタル者ノ託送スルモノヲ除ク

(一) 木炭。米。砂糖。燐寸

(二) 林檎。蜜柑

第八條關係

七四ノ一

1688

- (三) 甘藷、馬鈴薯、白菜、甘藷、玉葱、葱、大根(生ノモノ)
- (四) 鮭、鱈(鹽シタルモノ)
- 二 受託禁止期間 十二月十日ヨリ十二月三十一日迄

七四ノ二

(通) 一五八

1689

陸運統制令施行規則(昭和十六年十一月十八日)
(鐵道省令第十七號)

(四四九)

第一條 陸運統制令(以下單ニ令ト稱ス)ノ施行ニ關シテハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 令第二條ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶シ又ハ引受ケントスルトキハ其ノ旨告示ス但シ第三條第三項ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 令第二條ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶シ又ハ引受ケントスル場合ニ於テハ運送ノ申込ヲ爲ス者ニ對シ令第二十七條ノ規定ニ基キ旅行ノ目的、物ノ種類及性質其ノ他ノ事項ニ關シ申告ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ申告ヲ求ムル場合ニ於テハ其ノ旨及申告ヲ求ムベキ事項ヲ告示ス
前二項ノ規定ニ依ル申告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタルトキハ令第二條ノ規定ニ依リ運送ヲ拒絶ス

第四條 令第三條ノ規定ニ依ル命令ハ告示シテ之ヲ爲ス

第五條 令第四條ノ規定ニ依リ輸送用物資ノ使用ヲ制限セントスルトキハ左ノ事項ヲ告示ス

第八條關係

七四ノ三

一 制限スベキ輸送用物資ノ表示

二 制限スベキ期間

三 制限スベキ使用ノ方法

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條 令第四條ノ規定ハ地方公共團體ニ付テハ之ヲ適用セズ

第七號 令第五條ノ規定ニ依ル命令ハ鐵道局長ニ於テ其ノ管轄スル國有鐵道、國營自動車、地方鐵道若ハ軌道ノ驛又ハ小運送業者ノ店舗、倉庫若ハ貨物置場ニ所在スル運送品ニ付左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一 引取ヲ爲スベキ運送品ノ表示

二 引取ヲ爲スベキ期日又ハ期間

三 其ノ他必要ト認ムル事項

第八條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ總動員物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一 米、麥、飼料、砂利、石材、セメント、木材、石炭、薪、木炭、鑛石、石灰石、鐵（鋼ヲ含ム）、肥料

二 前號ノ物資以外ノモノニシテ鐵道大臣特ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

(四五)

第九條 令第六條ノ出資者ハ前條ニ定ムル貨物ヲ國有鐵道、國營自動車、地方鐵道又ハ軌道ニ託送

(小運送業者ヲ介シ託送スル場合ヲ含ム以下同ジ)セントスル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル

モノトス

一 當該貨物ニ付從前ノ一定期間内ニ於テ一定數量以上ノ託送ノ實績アリタルモノ

二 前號ノモノ以外ノモノニシテ當該貨物ニ付一定期間内ニ一定數量以上ノ託送ノ豫定ヲ有スル

モノ

前項第一號及第二號ノ期間又ハ數量ハ貨物ノ種類又ハ其ノ託送ノ區域ニ應ジ鐵道大臣之ヲ定メ告

示ス

第十條 令第六條第一項ノ規定ニ依リ貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ爲サシメントスルト

キハ其ノ旨竝ニ報告ヲ爲スベキ事項及報告ヲ爲スベキ期限ヲ告示ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ告示アリタルトキハ出貨者ハ報告ヲ爲スベキ事項ヲ當該貨物ヲ託送セ

ントスル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

前項ノ規定ニ依リ報告シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ出貨者ハ遲滞ナク其ノ變更シタル事項

第八條關係

七四ノ五

ヲ報告スベシ

七四ノ六

第十二條 令第六條第二項ノ指定ハ鐵道局長之ヲ爲シ出貨者ニ書面ヲ以テ通知スベシ

第十三條 令第六條第二項ノ規定ニ依ル指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シタル出貨者ハ令第二十七條ノ

規定ニ依リ毎月十日迄ニ當該貨物ノ前月中ニ於ケル託送數量ヲ託送シタル驛ノ驛長ヲ經由シ其ノ

所管鐵道局長ニ對シ書面ヲ以テ報告スベシ

第十四條 工場事業場使用收用令施行規則第一條乃至第七條、第十一條及第十二條ノ規定ハ令第八

條ノ規定ニ依ル陸上運送ノ施設ノ使用又ハ收用ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ同令中主務大臣トアルハ

鐵道大臣トス

第十五條 令第九條ノ規定ニ依ル物資又ハ設備ノ讓渡、讓受、貸渡又ハ借受ノ命令ハ左ノ事項ヲ記

載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一 讓渡又ハ借借ノ當事者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 讓渡シ、讓受ケ、貸渡シ又ハ借受クベキ物資又ハ設備ノ表示及物資ニ在リテハ數量、設備ニ

在リテハ所在ノ場所

三 讓渡又ハ借借ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限

(四五)

1693

- 四 讓渡シ、讓受ケ、貸渡シ又ハ借受クベキ物資又ハ設備ノ引渡ノ期限
- 五 貸借ノ場合ニ在リテハ貸借ノ期間
- 六 其ノ他必要ト認ムル事項

(四三)

第十六條 令第十條第二項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ當事者連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ前條ノ令書ノ送達ニ當リ經由シタル官廳ヲ經由シ鐵道大臣ニ提出スベシ

- 一 讓渡又ハ貸借ニ關スル契約書ノ謄本
- 二 讓渡價格又ハ貸借料ノ算定説明書
- 三 令第十七條第一項ノ規定ニ依ル供託ノ命令アリタル場合ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル協定書ノ寫

第十七條 令第十條第一項ノ規定ニ依ル裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル申請書ノ正本ニ副本一通ヲ添ヘ之ヲ鐵道大臣ニ提出スベシ

- 一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 申請ノ目的及事由

鐵道大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期限迄ニ答辯

第八條關係

七四ノ七

書ヲ差出サシム

前項ノ期限迄ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得

鐵道大臣裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ之ヲ當事者ニ送達ス

第十八條 令第十一條ノ規定ニ依リ輸送用物資ヲ指定スルコト左ノ如シ

一 鐵道車輛

二 貨物自動車但シ鐵道大臣ノ告示シタルモノニ限ル

三 前各號ノ物資以外ノモノニシテ鐵道大臣特ニ必要アリト認メ告示シタルモノ

第十九條 令第十一條ノ規定ニ依リ地方鐵道事業者又ハ專用鐵道ノ設備ヲ有スル者鐵道車輛ヲ讓渡

シ、貸渡シ又ハ廢止セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル認可申請書ヲ鐵道大臣ニ提出シ其ノ認

可ヲ受クベシ但シ二月以内ノ貸渡ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 讓渡シ、貸渡シ又ハ廢止セントスル鐵道車輛ノ種類及形式

二 讓渡又ハ貸渡ノ場合ニ在リテハ其ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三 讓渡、貸渡又ハ廢止ノ事由及廢止ノ場合ニ在リテハ廢止後ノ處分

第二十條 貨物自動車ヲ所有スル者第十八條第二號ノ貨物自動車ヲ讓渡シ、貸渡シ又ハ廢棄セント

(四五四)

七四ノ八

1695

スルトキハ左ノ事項ヲ記載セル認可申請書ヲ主タル事務所（主タル事務所ナキトキハ住所）ノ所
在地ヲ管轄スル警察署長ヲ經由シ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監トス）ニ提出シ其ノ認可
ヲ受クベシ但シ自動車ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル者ノ販賣ノ爲ニスル譲渡及二月以内ノ貸渡ニ付
テハ此ノ限ニ在ラズ

（四五五）

一 譲渡シ、貸渡シ又ハ廢棄セントスル自動車ノ車名、形式（形状）、年式（製作年）、車輛番號、
原動機ノ種類及物品最大積載量

二 譲渡又ハ貸渡ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三 譲渡、貸渡又ハ廢棄ノ事由

第二十一條 令第十一條ノ規定ニ依リ第十八條第三號ノ規定ニ依リ告示アリタル物資ヲ所有スル者
當該物資ヲ譲渡セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載セル認可申請書ヲ鐵道大臣ニ提出シ其ノ認可ヲ
受クベシ但シ當該物資ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル者ノ販賣ノ爲ニスル譲渡ニ付テハ此ノ限ニ在ラ
ズ

一 譲渡セントスル物資ノ名稱並ニ種類及數量

二 譲渡ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

第八條關係

七四ノ九

1696

三 譲渡ノ事由

第二十二條 令第十二條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ制限又ハ禁止ノ命令ハ左ノ事項ヲ告示シ又ハ之ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一 制限シ又ハ禁止スベキ設備ノ表示

二 制限又ハ禁止ノ範圍

三 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ命令アリタルトキハ制限又ハ禁止ノ範圍ニ於ケル當該設備ニ關スル工事ニ著手スルコトヲ得ズ既ニ工事ニ著手セルトキハ之ヲ中止シ其ノ進捗狀況ヲ遲滯ナク鐵道大臣ニ届出ツベシ但シ工事ノ中止ニ因リ危險ヲ生ズベキ處アルトキハ之ヲ防止スルニ必要ナル限度ニ於テ工事ノ遂行ヲ妨
グズ

前項ノ届出アリタル場合鐵道大臣必要アリト認ムルトキハ適當ナル限度ニ於テ工事ヲ遂行セシムルコトヲ得

第二十三條 令第十三條第一項ノ規定ニ依ル事業開始ノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

(四六)

一 開始スベキ事業ノ種類及範圍

二 事業開始ニ必要ナル設備ノ工事方法ニ付認可ヲ申請スベキ期限

三 事業ヲ開始スベキ期限

四 其ノ他必要ト認ムル事項

令第十三條第二項ノ規定ニ依リ會社ノ目的ノ變更ヲ命ゼントストキハ前項ノ令書ニ會社ノ目的ヲ變更スベキ旨ヲ記載スベシ

第二十四條 前條ノ令書ヲ受ケタル者ハ事業開始ニ必要ナル設備ノ工事方法ニ付鐵道大臣ノ指定スル期限迄ニ之ガ認可ヲ申請スベシ

第二十五條 前條ノ規定ニ依リ認可申請書ハ地方鐵道法施行規則第十一條乃至第十四條ノ規定ニ依ル書類及圖面(既ニ提出シタルモノアルトキハ變更スル部分ヲ記載シタル書類及圖面)ヲ添附シ之ヲ所管地方長官ヲ經由シ鐵道大臣ニ提出スベシ

第二十六條、令第十三條第一項ノ規定ニ依リ事業ノ開始ヲ命ゼラルタル者ハ地方鐵道法第十二條、第十三條及第四十五條ノ免許、認可又ハ許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第二十七條 令第十三條第一項ノ規定ニ依リ專用鐵道ノ設備ヲ有スル者ニ對スル其ノ設備ヲ共用ス

第八條關係

七四ノ二

ベキコトノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發シテ之ヲ爲ス

一 共用スベキ設備ノ表示

二 共用スベキ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三 共用ノ條件ニ付認可ヲ申請スベキ期限

四 其ノ他必要ト認ムル事項

前項ノ令書ヲ受ケタル者ハ共用ノ條件ニ付相手方ト協議ヲ爲シ鐵道大臣ノ指定スル期限迄ニ之ガ

認可ヲ申請スベシ

第二十八條 令第十四條ノ規定ニ依ル事業ノ委託、受託、讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ノ命令ハ令

書ヲ發シテ之ヲ爲ス

第二十九條 事業ノ委託又ハ受託ノ令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 委託ノ當事者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 委託シ又ハ受託スベキ事業ノ範圍

三 委託又ハ受託ノ方法

四 委託ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限

五 委託又ハ受託ノ期間

六 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十條 事業ノ讓渡若ハ讓受ノ令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 讓渡ノ當事者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 讓渡シ又ハ讓受クベキ事業ノ範圍

三 讓渡ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期限

四 讓渡又ハ讓受ノ期限

五 其ノ他必要ト認ムル事項

第三十一條 會社合併ノ令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 合併ノ當事者ノ名稱及住所

二 合併ノ方法

三 合併ノ條件ニ關スル協議ニ付認可ヲ申請スベキ期間

四 合併ノ期限

五 其ノ他必要ト認ムル事項

第八條關係

第三十二條 令第十五條第二項ノ規定ニ依ル認可申請書ハ當事者連署ノ上左ノ書類ヲ添附シ之ヲ第二十八條ノ令書ノ送達ニ當リ經由シタル官廳ヲ經由シ鐵道大臣ニ提出スベシ

一 委託、讓渡又ハ合併ニ關スル契約書ノ謄本

二 委託料、讓渡價格又ハ合併比率ノ算定説明書

三 委託又ハ讓渡ノ場合ニ在リテハ之ニ關シ公共團體ノ議會、株主總會、社員總會、無限責任社員、總社員又ハ組合員ノ決議又ハ同意ヲ要スルトキハ其ノ議事及決議ノ要領書又ハ同意書ノ謄本、合併ノ場合ニ在リテハ株主總會、社員總會、無限責任社員又ハ總社員ノ議事及決議ノ要領書又ハ同意書ノ謄本

四 令第十七條第一項ノ規定ニ依ル供託ノ命令アリタル場合ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル協定書ノ寫

第三十三條 第十七條ノ規定ハ令第十五條第一項ノ規定ニ依ル裁定ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 令第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ノ受託若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ爲シタルト

キハ受託人、讓受人又ハ會社ハ遲滞ナク其ノ期日ヲ鐵道大臣ニ届出ヅベシ

第三十五條 令第十七條（令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ擔保トシテ供託ス

(四六〇)

ベキモノハ國債又ハ國債以外ノ有價證券ニシテ譲受人ノ同意シタルモノトス

(四二)

第三十六條 令第十七條(令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ供託スベキ有價證券ノ數量及擔保價格ハ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ鐵道大臣之ヲ裁定ス

第十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル裁定ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 令第十七條(令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ擔保ヲ供託シタル者ハ該財團ヲ擔保トスル債務ノ額ヲ減少シタル場合及讓受ケタル物資、設備其ノ他ノモノガ抵當權者ノ同意ヲ得テ當該財團ヨリ分離セラレタル場合ハ供託物ノ一部ノ取戻ヲ爲スコトヲ得前條ノ規定ハ取戻シ得ベキ有價證券ニ付之ヲ準用ス

第三十八條 令第十八條(令第十九條第三項及令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ債務ヲ承繼セシメントスルトキハ鐵道大臣ハ當該債務ノ種類及名稱竝ニ承繼ノ期日ヲ官報ニ公告スベシ此ノ場合ニ於テハ鐵道大臣ハ讓渡人及讓受人ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第三十九條 前條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル讓渡人及讓受人ハ債務ノ承繼期日迄ニ擔保附社債信託法ニ依ル社債ニ在リテハ受託會社、其ノ他ノ債務ニ在リテハ債權者ト債務ノ承繼ニ關シ必要ナ

第八條關係

七四ノ一五

ル事項ニ付協定ヲ爲スベシ

七四ノ一六

前項ノ規定ニ依リ擔保附社債ノ債務ヲ承繼シタルトキハ讓渡人、讓受人及受託會社ハ前條ノ承繼ノ期日ニ債務ノ承繼アリタル旨ヲ遲滞ナク公告スベシ但シ知レタル社債權者及擔保附社債信託法

第二十九條第一項ノ規定ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ニハ各別ニ之ヲ通知スベシ

第四十條 令第十八條（令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ債務ノ全部ノ承繼アリタル場合ニ於テハ當該債務ヲ擔保セル抵當權ハ從前ト同一ノ態様ニ於テ承繼アリタル債務ヲ擔保セル抵當

保スル爲ニ仍存續スルモノトシ債務ノ一部ノ承繼アリタル場合ニ於テハ當該債務ヲ擔保セル抵當權ハ從前ト同一ノ態様ニ於テ承繼アリタル債務ヲモ擔保スルモノトス

第四十一條 令第十八條（令第十九條第三項及令第二十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依

リ株式會社ニ非ザル者ガ社債ノ債務ヲ承繼シタル場合ニ於テハ當該債務ニ付テハ社債ニ關スル法令ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ從前ノ社債券ハ當該承繼人ニ對スル當該債權ヲ表示スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ擔保附社債信託法ニ依ル從前ノ社債ノ委託會社ハ從前ノ社債原簿又ハ其ノ謄本ニ就キ承繼アリタル債務ニ關スル債權者原簿ヲ作成シ之ヲ承繼人ニ交付スルコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テハ當該抵當權ニ關シ承繼人ト從前ノ社債ノ受託會社トノ間ニ從前ト同一ノ態

(四三)

1703

様ニ於テ信託關係存續スルモノトス

(四六)

第一項ノ證券及第二項ノ債權者原簿竝ニ承繼債務ノ權利ノ實行ニ付テハ擔保附社債信託法ヲ準用ス
第四十二條 第十七條ノ規定ハ令第十八條第二項(令第十九條第三項及令第二十條ニ於テ準用スル
場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル裁定ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 令第十九條第一項ノ規定ニ依リ鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ承繼シ
タルトキハ讓渡人及讓受人ハ抵當權者ニ對シ其ノ旨及承繼ノ日ヲ通知スベシ

第四十四條 令第十九條第一項ノ規定ニ依リ鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ承繼シ
タル者ガ株式會社ニ非ザルトキハ當該財團及之ヲ目的トスル抵當權ニ付テハ鐵道抵當法、明治四
十二年法律第二十八號又ハ自動車交通事業法第六章ノ規定ヲ準用ス

第四十五條 令第二十二條ノ規定ニ依ル事業ノ廢止又ハ休止ノ命令ハ左ノ事項ヲ記載セル令書ヲ發
シテ之ヲ爲ス

- 一 廢止シ又ハ休止スベキ事業ノ範圍
- 二 廢止ノ期限又ハ休止ノ期限若ハ期間
- 三 其ノ他必要ト認ムル事項

第八條關係

七四ノ一七

第四十六條 令第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ノ廢止又ハ休止ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ期日ヲ鐵道大臣ニ届出ツベシ

第四十七條 令第二十三條ノ規定ニ依ル設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、共同作業、運賃又ハ料金其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定又ハ變更ハ陸上運送事業者ヲ指定シ又ハ地域及業種ヲ指定シテ之ヲ命ジ其ノ取消ハ取消スベキ期限ヲ指定シテ之ヲ命ズ

第四十八條 陸上運送事業者令第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ依リ統制協定ヲ設定シ又ハ變更シタルトキハ左ノ事項ヲ遲滯ナク鐵道大臣ニ届出ツベシ

- 一 設定シ又ハ變更シタル協定ノ内容
- 二 設定シ又ハ變更シタル協定實施ノ年月日
- 三 其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第四十九條 令第二十四條ノ規定ニ依リ公告期間ヲ一週間トス但シ緊急ノ必要アル場合ニシテ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ認可ヲ受ケタル期間トス

第五十條 令第七條第三項ニ於テ準用スル工場事業場管理令第十一條ノ規定ニ依ル施設ノ管理ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ管理廢止ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ鐵道大臣ニ提出ス

(四六四)

ベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ毎事業年度ノ終リタル後又ハ損失ヲ生ジタル都度三月以内ニ提出スルコトヲ得

第五十一條 前條ノ損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 損失補償請求ニ係ル施設ノ名稱及所在ノ場所
- 二 管理開始ノ時期及管理ノ期間又ハ請求ノ基礎トナリタル期間
- 三 補償請求ノ事由
- 四 補償請求額
- 五 其ノ他必要ト認ムル事項

第五十二條 令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第二十四條ノ規定ニ依ル施設ノ使用若ハ收用ノ處分又ハ從業者ノ供用ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ收用ノ場合ニ在リテハ收用（令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第八條ノ規定ニ依リ收用セザルコトノ決定アリタルトキハ其ノ決定）ノ後一年以内ニ、使用ノ場合ニ在リテハ使用期間満了又ハ使用廢止（令第八條第三項ニ於テ準用スル同令同條ノ規定ニ依リ使用セザルコトノ決定アリタルトキハ其ノ決定）ノ後、從業者ノ供用ノ場合ニ在リテハ供用ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ鐵

第八條關係

七四ノ一九

道大臣ニ提出スベシ

七四ノ二〇

使用ノ場合ニ於テ使用ノ期間六月ヲ超ユルモノナルトキハ毎事業年度ノ終リタル後三月以内ニ損失補償請求書ヲ提出スルコトヲ得

第五十三條 施設ノ使用又ハ收用ノ處分ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 使用又ハ收用ノ目的タル施設ノ表示
 - 二 使用ノ場合ニ在リテハ令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第八條ノ規定ニ依ル使用セザルコトノ決定ノ時期又ハ使用開始ノ時期、使用ノ期間及請求ノ基礎ト爲リタル期間、收用ノ場合ニ在リテハ令第八條第三項ニ於テ準用スル同令同條ノ規定ニ依ル收用セザルコトノ決定ノ時期又ハ收用ノ時期
 - 三 補償請求ノ事由
 - 四 補償請求額
 - 五 其ノ他必要ト認ムル事項
- 従業者ノ供用ニ因ル損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 供用ノ時期及供用ノ期間アルトキハ其ノ期間

(四六)

1707

二 補償請求ノ事由

三 補償請求額

四 其ノ他必要ト認ムル事項

(四七)

第五十四條 令第二十六條第一項ノ規定ニ依ル事業ノ廢止又ハ休止ノ命令ニ因ル損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ廢止ノ場合ニ在リテハ廢止ノ後一年以内ニ、休止ノ場合ニ在リテハ休止期間満了ノ後六月以内ニ損失補償請求書ヲ鐵道大臣ニ提出スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ鐵道大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ毎事業年度ノ終リタル後三月以内ニ提出スルコトヲ得

第五十五條 前條ノ損失補償請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 廢止又ハ休止ノ命令ニ係ル事業ノ表示

二 廢止ノ場合ニ在リテハ廢止ノ時期、休止ノ場合ニ在リテハ請求ノ基礎トナリタル期間

三 補償請求ノ事由

四 補償請求額

五 其ノ他必要ト認ムル事項

鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ノ組成ニ係ル事業ノ廢止ノ場合ニ在リテハ前項第四

第八條關係

七四ノ二一

號ノ補償請求額ハ財團ノ組成ニ係ル部分毎ニ又ハ財團ノ組成ニ係ル部分ト然ラザルモノトニ區分シテ之ヲ記載スベシ

第五十六條 第五十條、第五十二條及第五十四條ノ損失補償請求書ニハ損失補償額算定明細書ヲ添附スベシ使用又ハ收用ノ場合ニ於テハ受領調書ノ交付又ハ其ノ謄本ノ送達ヲ受ケタル場合ナルトキハ其ノ寫ヲ添付スルコトヲ要ス

第五十七條 鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ヲ有スル者ハ令第二十六條第三項ノ規定ニ依リ當該財團ノ組成ニ係ル部分ニ付支拂ハルベキ損失補償金ニ對シテ又ミ其ノ權利ヲ行フコトヲ得但シ其ノ損失補償金ノ支拂前ニ之ヲ差押フルコトヲ要ス

鐵道財團、軌道財團又ハ自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ヲ有スル者令第二十六條第三項ノ規定ニ依リ當該事業廢止當時當該財團ニ屬シタルモノニ對シ其ノ權利ヲ行ハントスルトキハ當該事業廢止ノ日ヨリ三月以内ニ其ノ手續ヲ爲スベシ

第五十八條 令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第十條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受クルニ付携帶セシムベキ證券ハ別記第一號様式ニ依ル

令第二十七條第二項ノ規定ニ依ル證券ハ別記第二號様式ニ依ル

第五十九條 令第二十七條第一項ニ定ムル鐵道大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外鐵道局

(第六)

長及地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)之ヲ行フコトヲ得

附則

本令ハ昭和十六年勅令第九百七十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

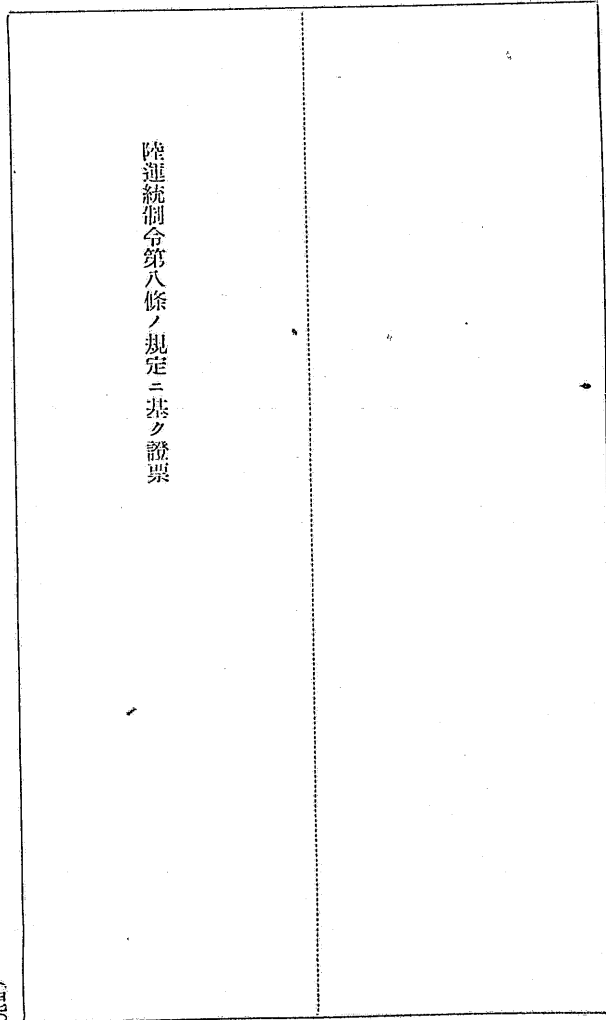
第八條關係

七四ノ二三

別記

第一號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表面)

七四ノ二四



(05回)

1711

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官

職 氏

名

鐵道省又ハ鐵道局印

國家總動員法第十三條第一項 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
 全國業務ヲ管理スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ
 全部又ハ一部ヲ管理スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ
 四、第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス
 國家總動員法第十三條第一項 陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得
 陸運統制令第八條 鐵道大臣ハ必要アリト認ムルトキハ陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得
 鐵道統制令第八條 鐵道大臣ハ必要アリト認ムルトキハ陸上運送ノ施設ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得
 工場事業場使用收用令第三條、第四條、第五條第一號乃至第五號第七號、第六條乃至第十二條及第
 工場事業場使用收用令第三條、第四條、第五條第一號乃至第五號第七號、第六條乃至第十二條及第
 十八條乃至第二十八條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル施設ノ使用又ハ收用及前項ノ規定ニ依ル從業者
 工場事業場使用收用令第十條 主務大臣ハ當該官吏ヲシテ使用又ハ收用ノ目的タル工場事業場ノ引渡
 前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受ケシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシム
 陸運統制令施行規則第五十八條第一項 令第八條第三項ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第十條
 第二項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受クルニ付携帯セシムベキ證票ハ別記第一號様式ニ依ル

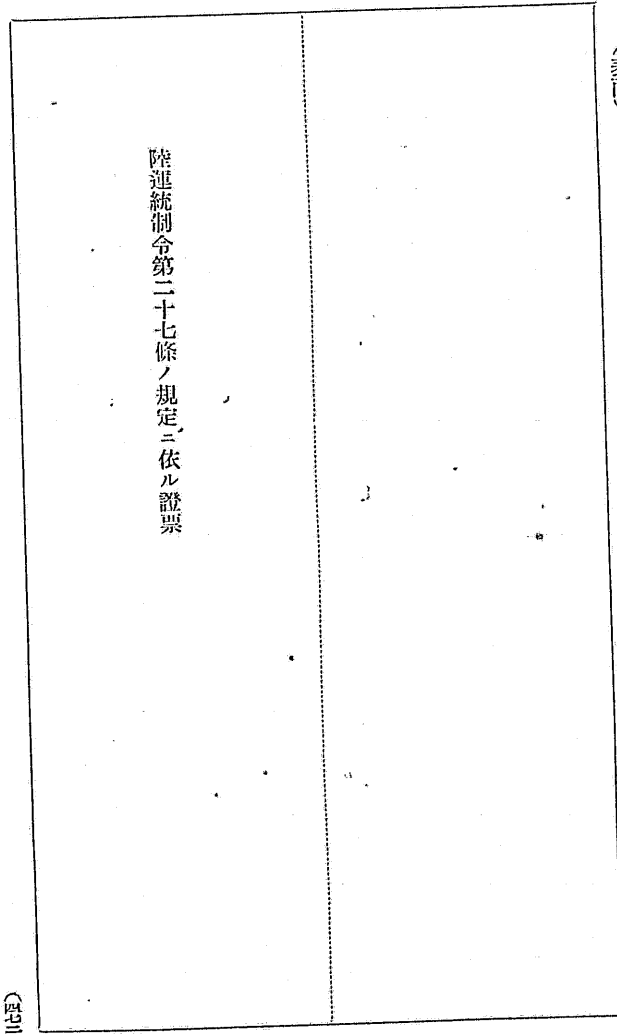
第八條關係

七四ノ二五

(四七)

第二號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス)
(表面)

七四ノ二六



(115)

1713

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名
鐵道省鐵道局又
ハ 廳 府 縣 印

(四三〇四三)

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

陸運統制令第二十七條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ陸上運送事業者、陸上運送ノ設備ヲ有スル者、陸上運送ノ統制ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店舖、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムルベシ

陸運統制令施行規則第五十八條第二項 令第二十七條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記第二號様式ニ依ル

第八條關係

七四ノ二七

海軍統制令(昭和十五年二月一日)
勅令第三十八號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク船舶ノ製造、修繕及使用ニ關スル命令竝ニ同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價格、水上ノ運送賃及船舶ノ賃貸料(期間備船料ヲ含ム以下同ジ)ニ關スル命令ハ價格等統制令(第七條ヲ除ク)ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 船舶ノ製造ヲ爲サントスル者及外國ニ船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ製造ニ付遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第三條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得但シ工場事業場管理令第六條ノ規定ニ依ル指揮監督ヲ妨ゲズ

第四條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ船舶ノ賃借(期間備船ヲ含ム以下同ジ)又ハ船舶ノ運航ノ委託ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料、運航手数料其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第八條關係

七五

1715

第五條 帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ日本船舶(外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム)ニ非ザル船舶ヲ借受ケ(期間備船ヲ含ム)又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第六條 遞信大臣ハ航路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶ヲ指定シテ航海ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ一般的ニ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲サルル別段ノ處分ノ效力ヲ妨ゲズ

第七條 遞信大臣ハ船舶荷役ノ圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 價格等統制令第六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外遞信大臣船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ノ額ヲ指定シタルトキハ同令第二條乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ支拂者又ハ受領者ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ

影響ヲ及ボスコトナシ

- 一 船舶ノ製造價格ニ付テハ造船者ガ製造ニ著手シタルモノ
- 二 船舶ノ賣買價格ニ付テハ買主ガ船舶ノ引渡ヲ受ケタルモノ
- 三 水上ノ運送賃ニ付テハ運送人ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
- 四 船舶ノ賃貸料ニ付テハ賃借人ガ履行遲滞ニ在ルモノ

第九條 船舶所有者、運航業者又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノニシテ遞信大臣ノ指定スルモノ船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ノ額ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員（構成員ガ組合其ノ他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二項ノ場合亦同ジ）ニ對シテハ其ノ額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定セラレタル額ト看做ス

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ對シテモ前項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定セラレタル額ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額

第八條關係

七七

1717

ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際前條第二項各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第十條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更（價格等統制令第六條ニ規定スル他ノ法令ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除ク）ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃賃料ノ額ノ引上ト看做ス

第十一條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第八條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 第八條乃至前條ノ規定ハ左ニ掲グルモノニハ之ヲ適用セズ

一 營利ヲ目的トシテ契約ヲ爲スニ非ザル契約當事者但シ當該契約ヲ爲スコトガ業務ニ非ザル場合ニ限ル

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル船舶ノ輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル水上運送ノ運送賃（遞信大臣ノ告示スルモノヲ除ク）

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル價格、運送賃及賃賃料

第十三條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ニ付公示ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第四條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル賃借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベシ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ船舶ノ製造、修繕、使用、價格若ハ賃貸料又ハ水上ノ運送賃ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

第十七條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ水上ノ運

第八條關係

七九

1719

送貨ニ在リテハ知事及警視總監ニ委任スルコトヲ得

八〇

第十八條 本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ遞信局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第二條、第四條乃至第六條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ其ノ重要ナルモノニ付豫メ遞信大臣ニ議スベシ

第十九條 本令ハ總噸數二十噸未滿ノ漁船ノ賣買價格又賃賃料ニ付テハ之ヲ適用セズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

1720

海運統制令中改正ノ件(昭和十六年九月三日
勅令第八百四十二號)

(四七五)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定

ニ基ク船舶ノ製造、修繕及使用ニ關スル命令竝ニ同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價格及修繕料、水上ノ運送賃、船舶ノ貸貸料及運航手數料、船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料竝ニ船舶ノ賣買、貸借若ハ運航委託又ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料(以下船舶ノ價格等ト稱ス)ニ關スル命令ハ價格等統制令(第七條ヲ除ク)ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

本令ニ於テ貸貸料トハ期間備船料ヲ含ムモノトシ貸借トハ期間備船ヲ含ムモノトス

第四條中「期間備船ヲ含ム以下同ジ」ヲ削ル

第七條中「荷役請負業者」ヲ削ル

第八條第一項中「船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ貸貸料ノ額」ヲ「船舶ノ價格等ノ額」ニ、

「第四條」ヲ「第四條ノ四」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第八條關係

八〇ノ一

1721

- 一 船舶ノ製造價格ニ付テハ造船者ガ製造ニ著手シタルモノ
 - 二 船舶ノ修繕料ニ付テハ修繕者ガ修繕ニ著手シタルモノ
 - 三 船舶ノ賣買價格ニ付テハ買主ガ船舶ノ引渡ヲ受ケタルモノ
 - 四 水上ノ運送賃ニ付テハ運送人ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
 - 五 船舶ノ賃貸料ニ付テハ賃借人ガ履行遲滞ニ在ルモノ
 - 六 船舶ノ運航手數料ニ付テハ委託者ガ履行遲滞ニ在ルモノ
 - 七 船積又ハ陸揚ニ關スル請負料又ハ手數料ニ付テハ請負人又ハ引受人ガ請負料又ハ手數料ニ對スル給付ニ著手シタルモノ
 - 八 船舶ノ賣買、貸借若ハ運航委託又ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料ニ付テハ支拂者ガ履行遲滞ニ在ルモノ
- 第九條中「運航業者」ノ下ニ「港灣運送業者、海運仲立業者」ヲ加ヘ「船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ノ額」ヲ「船舶ノ價格等ノ額」ニ改ム
- 第十條中「船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ノ額」ヲ「船舶ノ價格等ノ額」ニ改ム
- 第十二條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル船舶ノ價格等

(四七、四八)

第十三條中「水上ノ運送賃」ノ下ニ「船積若ハ陸揚ニ關スル請負料若ハ手數料」ヲ加フ

第十五條中「船舶ノ製造、修繕、使用、價格若ハ賃貸料又ハ水上ノ運送賃」ヲ「船舶ノ製造、修繕、若ハ使用又ハ船舶ノ價格等」ニ改ム

第十九條中「總噸數二十噸未滿ノ漁船ノ賣買價格及賃貸料」ノ下ニ「茲ニ賣買又ハ賃借ニ關スル斡旋手數料」ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十六年九月十日ヨリ之ヲ施行ス

第八條關係

八〇ノ三

1723

海運統制令(昭和十七年五月十五日)
勅令第五百四號

(追六ノ二)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第五條ノ規定ニ基ク海運關係事業ニ關スル試驗研究ニ關スル業務ニ付テノ協力命令、同法第八條ノ規定ニ基ク船舶、船體、船舶用機關、艤裝品、其ノ部分品若ハ附屬品(以下船舶等ト稱ス)ノ製造若ハ修繕又ハ海運關係事業ノ用ニ供スル物資ノ讓渡、使用、保有若ハ消費ニ關スル命令、同法第十六條ノ二ノ規定ニ基ク海運關係事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡、出資又ハ貸渡ニ關スル命令、同法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク海運關係事業ノ委託、共同經營、讓渡、廢止若ハ休止又ハ海運關係事業ヲ營ム會社ノ合併ニ關スル命令及同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價格若ハ修繕料、水上ノ運送賃、船舶ノ貸賃料若ハ運航手數料、船積若ハ陸揚ニ關スル請負料若ハ手數料又ハ船舶ノ賣買、船舶ノ貸借、船舶ノ運航委託若ハ船舶ニ依ル運送ノ斡旋手數料(以下船舶ノ價格等ト稱ス)ニ關スル命令ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ海運關係事業トハ左ニ掲グル事業ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ謂フ

一 船舶ニ依ル人若ハ物ノ運送、船舶ノ貸渡又ハ其ノ運航ノ委託ヲ爲ス事業

第八條關係

八〇ノ五

1724

二 船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業

三 船舶ノ運航、製造又ハ修繕ニ必要ナル多種類ノ物品ノ販賣ヲ爲ス事業

四 船舶ノ救助、引揚又ハ解撤ヲ爲ス事業

本令ニ於テ貸渡又ハ借受トハ船舶ニ付テハ期間傭船ヲ含ムモノトシ船舶ノ賃貸料トハ期間傭船料ヲ含ムモノトス

第三條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業ヲ營ム者（以下海運關係事業者ト稱ス）ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備若ハ權利又ハ其ノ事業ノ用ニ供スル物資ノ讓渡、讓受、貸渡又ハ借受ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラズ讓渡又ハ貸渡ヲ爲スコトヲ得

第四條 前條ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ貸渡ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル

前項ノ協議ハ遞信大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第一項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣之ヲ裁定ス

遞信大臣前項ノ裁定ヲ爲サントスルトキハ事案ノ重要ナルモノニ付テハ海事審議會ノ議ヲ經ベシ
第五條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業者ニ對シ其ノ事業ニ

（追記ノ二）

屬スル設備又ハ權利ノ出資ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ遞信大臣ハ出資ノ相手方ニ對シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三條第二項及前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ海運關係事業者ニ對シ其ノ事業ノ用ニ供スル物資ノ使用、消費若ハ保有ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費若ハ保有ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第七條 遞信大臣ハ海運關係事業者ニ對シ規格ヲ指定シテ船舶等ノ製造ヲ命ジ若ハ範圍ヲ指定シテ船舶等ノ修繕ヲ命ジ、指定シタル規格若ハ範圍以外ノ船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ船舶等ノ製造若ハ修繕ニ付順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲サントスル者及外國ニ船舶等ノ製造又ハ修繕ノ註文ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶等ノ製造又ハ修繕ニ付遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第九條 第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ讓渡、貸渡又ハ出資ノ命令ヲ受ケタル者ハ讓渡、貸渡又ハ出資ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ當該設備、權利又ハ物資ノ讓渡、貸渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條關係

第十條 第三條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備、權利若ハ物資ノ讓渡ヲ受ケタル者又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備若ハ權利ノ出資ヲ受ケタル者當該設備、權利又ハ物資ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十一條 事業ニ屬スル設備若ハ權利又ハ事業ノ用ニ供スル物資ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該設備、權利又ハ物資ニ關シテハ第三條第一項、第五條第一項若ハ第六條前段ノ規定又ハ第七條中船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ命ズル規定ハ之ヲ適用セズ

第十二條 工場財團ニ屬スルモノハ第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍原財團ニ屬スルモノトス

前項ノ場合ニ於ケル登記ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 遞信大臣ハ第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備、權利又ハ物資ヲ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ第十四條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ガ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルベキ損失ノ補償ニ充ツル爲メ命令ノ定ム

(追六ノ二四)

ル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十四條 遞信大臣ハ第三條第一項又ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ設備、權利又ハ物資ノ讓渡又ハ

出資ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ當該設備、權利又ハ物資ヲ擔保トスル債務ヲ引續キ負擔センメ置クコトヲ適當ナラズト認ムルトキハ國家總動員法第十八條ノ二ノ規定ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ヲシテ當該債務ノ全部又ハ一部ヲ承繼センムルコトヲ得

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業者ニ對シ海運關係

事業ノ全部若ハ一部ノ委託、受託、共同經營、讓渡若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ命ズルコトヲ得

第三條第二項、第四條及第九條乃至前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡又ハ讓受ノ命令ア

リタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條第二項、第四條及第九條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ事業ノ委託、受託若ハ共同經營又ハ

會社ノ合併ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第八條關係

第十六條 第四條(第五條第二項、第十四條第二項及前條第二項第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ協議又ハ裁定ニ基キ會社ガ事業ノ讓渡、合併其ノ他當該協議又ハ裁定ニ於テ定メラレタル事項ノ實行ヲ爲サントスルニ付株主總會又ハ之ニ準ズベキモノノ決議、同意等ヲ必要トスル場合ニ於テ其ノ決議、同意等ヲ得ルコト能ハザルトキハ會社ハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ當該事項ノ實行ヲ爲スコトヲ得

第十七條 遞信大臣ハ海運關係事業者又ハ其ノ團體ヲシテ海運關係事業ニ關シ國又ハ遞信大臣ノ指定スル者ノ行フ國家總動員上必要ナル試験研究ニ關スル業務ニ付協力セシムルコトヲ得

第十八條 遞信大臣海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業者ニ對シ其ノ事業ノ全部又ハ一部ノ廢止又ハ休止ヲ命ズルコトヲ得

第十九條 帝國臣民又ハ帝國法人日本船舶ニ非ザル船舶ヲ借受ケ若ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスルトキ又ハ日本船舶ニ非ザル船舶ニ依リ命令ヲ以テ定ムル物資ヲ運送センメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二十條 遞信大臣ハ航路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶ヲ指定シテ航海ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ一般的ニ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ制限若ハ禁止スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲

(通六ノ一六)

サルル別段ノ處分ノ效力ヲ妨ゲズ

(追六ノ二七)

第二十一條 遞信大臣ハ海上輸送ノ円滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷受人若ハ荷受人又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ノ方法、順位、期日、期間又ハ數量ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 遞信大臣ハ海運關係事業者、港灣運送業者若ハ海運仲立業者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ船舶ノ價格等ノ設定又ハ變更ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設定又ハ變更シタル價格等ニ付テハ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第六條、第七條又ハ第十八條ノ規定ニ依ル處分ニ依リ通常生ズベキ損失トス

損失補償請求ノ時期其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ海運關係事業者、港灣運送業者若ハ海運仲立業者又ハ此等ノ者ノ團體ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶、工場其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシ

第八條關係

八〇ノ一一

ムベシ

八〇ノ一二

第二十五條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ海務局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ水上ノ運送賃ニ在リテハ知事及警視總監）ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 遞信大臣本令ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令ガ工場事業場管理令ニ依リ政府ノ管理ニ係ル工場又ハ事業場ニ關スルモノナルトキハ當該工場又ハ事業場ヲ管理スル主務大臣ニ協議スベシ

遞信大臣第三條第一項、第五條第一項又ハ第十五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該事項ガ他ノ法令ニ基キ他ノ大臣ノ許可、認可、免許等ヲ要スルモノナルトキハ當該大臣ニ協議スベシ

第二十七條 第三條第一項、第四條第二項第三項、第六條、第七條、第九條、第十條、第十三條第

一項、第十四條第一項、第十六條、第二十四條第一項及前條中遞信大臣トアルハ昭和十七年勅令

第六十八號第一條ノ規定ニ依リ海軍大臣ノ管理スル事項ニ付テハ海軍大臣トス

第二十八條 前條ノ場合ヲ除クノ外本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ海務局長又ハ地

（追六ノ一六）

1731

(道六ノ二六二七〇)

方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局總長又ハ州知事若ハ廳長トス

第四條第四項(第五條第二項、第十四條第二項及第十五條第二項第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ハ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ之ヲ適用セズ

第二十九條 朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第三條乃至第五條、第七條乃至第十條、第十五條、第十八條乃至第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ其ノ重要ナルモノニ付豫メ遞信大臣ニ協議スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十七年六月六日ヨリ之ヲ施行ス

従前ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ指定シ又ハ認可シタル額ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル、

第八條關係

八〇ノ一三